横浜天声キリスト教会　週報　第16巻27号（No.595）　2021年7月4日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　2コリント10:4-6 ・・・・・・ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9番　聖なる、聖なる、聖なるかな
*交読文 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 51番
*使徒信条 ・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 175番　み霊よわれ歌う時
礼拝のための祈り ・・・・・・・ 成田エクレシア：浪川執事　天声：小林伝道師
聖餐式 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 281番　しみもとがも
メッセージ ・・・・・・・・・・・・・・ 私達が黙って従順する6日間と、主が働く第7日(ヨシュア記6:1-15)
御言葉を適用する祈り ・・ 会衆一同
賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 402番　主が「進めよ」と
献金感謝の祈り ・・・・・・・・ パスター
報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・
*主の祈り ・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

＿＿＿は、肉にあって歩いてはいるが、肉に従って戦っているのではない。＿＿＿の戦いの武器は、肉のものではなく、神のためには要塞をも破壊するほどの力あるものである。＿＿＿はさまざまな議論を破り、神の知恵に逆らって立てられたあらゆる障害物を打ちこわし、すべての思いをとりこにしてキリストに服従させ、
そして、あなたがたが完全に服従した時、すべて不従順な者を処罰しようと、用意しているのである。（2コリント10:3-6）

最後に言う。主にあって、その偉大な力によって、強くなりなさい。悪魔の策略に対抗して立ちうるために、神の武具で身を固めなさい。＿＿＿の戦いは、血肉に対するものではなく、もろもろの支配と、権威と、やみの世の主権者、また天上にいる悪の霊に対する戦いである。
それだから、悪しき日にあたって、よく抵抗し、完全に勝ち抜いて、堅く立ちうるために、神の武具を身につけなさい。（エペソ6:10-13）

メッセージ概要

主が、神の民へ与える、と約束しておられた地、新しい祝福の領域へと入って行く書・ヨシュア記から養いを受けている。その地に入るには、自分の何かに依らず、ただ主のことばに従って歩み続ける事だった。

前回、ヨシュアは、御言葉の剣を前に、履物を脱いで、**全所有権を主へ譲渡した**。すると主の軍の将は言われた。『*見よ。わたしはエリコとその王、および勇士達を、あなたの手に渡した。*』(ヨシュア記6:2)
私達も、主の御言葉の前にひれ伏し、聞き従う姿勢を取るなら、**到底攻略できない敵を、主は渡して下さる。**

こうして、主の軍の将は、エリコの町の具体的な攻略方法を伝授し始めるのだが、その戦術は、世の通念からは、全くかけ離れた内容だった。まず七人の祭司に、七つの雄羊の角笛を持たせて、契約の箱を担ぐ祭司達の前を進ませ、戦士達をその「前」に進ませて、町を一周する。それを、六日続けるのだ。

そして、第七日目には七度、町を回り、祭司達は角笛を吹き鳴らさなければならない、というものだった。

主が「こうしなさい」と言われる事について、はたして本当に成るのか、と不安になる事が多い。しかし、主が言われた事であるなら、必ずその通りに成る。だから、頭で理解できなくとも、その通りに為すべきなのだ。

群衆というものは、わずかな人の「つぶやき」に付和雷同して、「御言葉に逆らう大群衆」となり易い、という事を、ヨシュアは40年間、偉大な指導者モーセにぴったりくっついて、群衆の手ごわさをつぶさに見た。

40年前、一緒に斥候に同行した、たった10人のつぶやきが発端となり、全群衆が主の命令に逆らって荒野で40年もさまよう事になってしまったのを、実体験した。あれから40年、いよいよエリコを攻略するにあたり、ヨシュアは、主の軍の将から命じられた通りを、群衆に行わせるため、**最も重要な3つの事**を命じる。

『*あなたがたは呼ばわって**（叫んで）はならない**。あなたがたの声を**聞え（シャマール：聞き従うつもりで聞く）させてはならない**。また口から**言葉（言うこと、スピーチ）を出してはならない**。*』(10節)

私達も、神様から始まった物事を、今さら、自分の価値観に照らして、あれこれつぶやいてはならない。また、相手や部下に、何か申し開きする必要も無い。主からの言葉は、主の言葉として、そのまま受け止め、そのまま実行する。それ以外の事は、罪を犯す事になり、あるいは、罪を犯させてしまう事になってしまう。

こうして、エリコ攻略が始まるのだが、その6日間、不思議な光景が展開されていた。契約の箱を担いでいる祭司達の前に、60万以上の戦士がついて、無言で、町の周りを行進するのだ。聞こえるのは、ただ祭司が吹き鳴らす雄羊の角笛だけ。それが1日、2日、、、6日続くのだ。敵も、味方も、思うだろう、どうしてこんな事を？と。しかし、**主から命じられた事を6日間行い、従順を積み立てる事に、大きな意味がある。**

祭司達が担ぐ「契約の箱」に入っているのは、神の筆跡で書かれた御言葉の石板と、いのちの養いのしるしであるマナと、復活のしるしであり、大祭司のしるしであるアロンの杖であった。

ヨルダン川を渡った時は、契約の箱が、2千キュビトの距離を置いて「先」を進んだが、今回は民が、契約の箱の「先」に進んで行く事が命じられた。主の言葉がひと度、発せられたなら、私達はもはや受け身であってはならず、**命じられた言葉を信じ、率先して進む**なら、**主の契約の保証が、ついて来て下さる**のだ。

祭司達は、雄羊の角笛を吹きながら進むが、「角」を表すヘブライ語「ケレン」は、比喩的に**「力」**を意味し、「雄羊（ヨーベル）」は、全ての負債が帳消しにされ、奴隷は解放される、全く安息の年・「ヨベルの年」の元となる言葉である。また同時に「雄羊（ヨーベル）」は、私達を罪の奴隷状態から解放された、キリストを表す。

つまり私達が、私達の「エリコ」を攻略する時、**主がしなさいと命じられた行進を、黙って続ける**のだ。誰の言葉も聞かず、ただ**キリストの力と、解放**だけを、響かせながら。そして、神の言葉と、いのちを養う証拠と、復活のしるしに、**後を追いかけられながら**。それも、1日だけでなく2日、3日も、そして6日の間、ずっと。

6という数字は人を表し、人の側が従順して最善を満たして、第7日目に至る時、主ご自身が働かれる。

それが、6という、人の側の努力と従順を満たし、7という神様の完全に至った時、奇跡が起きる。私達の力では決して出来なかった事を、主がなさり、何十年も立ちはだかっていた城壁は崩れ去り、敵はいとも簡単にやっつける事ができるのである。　結局、私達にとっての最善は、主の御言葉の前にひれ伏し、黙って、率先して、御言葉の通りに実行する事。それも、主の約束を担ぎつつ、ただキリストの栄光だけを聞こえさせながら。自分の思案に頼らず、主のお言葉どおりに行って、完全へと至る皆さんでありますように！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝　賛美 10:30　礼拝 11:00

食事/フェローシップ　12:30～

English Service　14:00～

※月に一度、成田出張礼拝のためお休みします。
詳しくはお問い合わせ下さい。

日々の集会

月～金　早天祈祷会　5:00～

火・木・金　賛美と祈りの集会 13:00～

火～木　夜の祈祷会　19:30～

水曜礼拝

1 部　13:00～

2 部　19:30～

金曜祈祷会　19:30～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております　→　youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 16 巻 27 号　　2021 年 7 月 4 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX： 045-326-6211
Homepage： http://voice.of.christ.yokohama/
email： ephes_03-tensei@yahoo.co.jp

YouTube